

遺伝性乳がん卵巣がんに関する遺伝診療をご希望の方へ

乳がんや卵巣がんの 5~10%は、遺伝的な要因が強く関与して発症していると考えられています。当院では遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)に関する遺伝診療を行っております。乳がん・卵巣がんにかかれ、ご家族にも乳がんや卵巣がんの方が多くいらっしゃる方、あるいは50歳以下で乳がんにかかれた方などは遺伝性の乳がん・卵巣がんの疑いがあります。ご希望に沿い遺伝カウンセリングを受けて頂くことができます。病気になった方だけではなく、ご家族の相談にも応じます。当院では遺伝性乳がん卵巣がんの原因遺伝子の一つである BRCA1/2 遺伝子検査を行っております。ご相談に来られた方の背景に沿って適切な検査をご案内いたします。

それでは受診までの流れをご説明いたします。

ここで行われる患者様を対象とした BRCA1/2 遺伝子検査の費用は保険適応ですが、それ以外の遺伝子の検査及びご家族の検査などにかかる費用は、自費となりますのでご了承ください。

- ① かかりつけ医に遺伝性乳がん卵巣がんの遺伝診療を希望することを伝えてください（遺伝診療が必要かどうかをあらかじめかかりつけ医にご相談ください）
- ② かかりつけ医が和歌山県立医科大学遺伝外来（周産期情報センター；遺伝専門回線）に受診依頼の電話をかけます
- ③ お電話ではかかりつけ医から受診される方のお名前、ご連絡先などの情報をお伺いします
- ④ 認定遺伝カウンセラーが折り返し電話にて連絡を取らせていただきます
- ⑤ ご相談の内容をお伺いします
- ⑥ 予約日に産婦人科外来で受付をしてください
- ⑦ 看護師が遺伝外来にご案内いたします
- ⑧ 臨床遺伝専門医から遺伝カウンセリングを受けてください
- ⑨ 可能な検査およびその結果等についてご説明申し上げます
- ⑩ 総合受付でお会計をしてお帰りください

遺伝的リスク評価のための基準をお示しします

以下に当てはまるかたは遺伝性乳がん卵巣がんの可能性が高いという判断になります。

がん発症者で以下の条件のいずれかがあてはまる場合

- がん感受性遺伝子変異が家系内で確認されている
- 若年発症乳がん（50歳以下）
- 60歳以下のトリプルネガティブ乳がん
- 1人で2つ以上の原発性乳がん
- 年齢を問わない乳がん、かつ
 - ・ 第三度近親者内に1人以上の50歳以下の乳がん患者がいる または
 - ・ 第三度近親者内に年齢を問わない浸潤性卵巣がんの患者がいる または
 - ・ 第三度近親者内に年齢を問わず乳がんおよび／または膵臓がん患者が2人以上いる または
 - ・ ハイリスクの集団の出身
- 重複がんおよび／または家族歴に下記のうち3つ以上がみられる（特に若年発症）
膵臓がん、前立腺がん、肉腫、副腎皮質がん、脳腫瘍、子宮内膜がん
甲状腺がん、腎臓がん、皮膚科学的特徴、巨頭症、
消化管の過誤腫性ポリープ、びまん性胃がん
- 浸潤性卵巣がん（卵管がん、腹膜原発がん）
- 男性乳がん

がん未発症者で家族内に以下の条件のいずれかがあてはまる場合

- がん感受性遺伝子変異が家系内で確認されている
- 若年発症乳がん（50歳以下）
- 60歳以下のトリプルネガティブ乳がん
- 1人で2つ以上の原発性乳がん
- 父方または母方の一方の家系に2人以上の乳がん
- 1人以上の浸潤性卵巣がん（卵管がん、腹膜原発がんを含む）
- 第一度または第二度近親者内に、45歳以下の乳がん
- 重複がんおよび／または家族歴に下記のうち3つ以上がみられる（特に若年発症）
膵臓がん、前立腺がん、肉腫、副腎皮質がん、脳腫瘍、子宮内膜がん
甲状腺がん、腎臓がん、皮膚科学的特徴、巨頭症、
消化管の過誤腫性ポリープ、びまん性胃がん
- 男性乳がん



関連サイト

日本 HBOC コンソーシアム



令和2年4月
和歌山県立医科大学遺伝外来